

令和5年度 富岡市社会福祉協議会 事業計画

I 基本方針

少子高齢化、人口減少が進行している我が国では、団塊の世代が後期高齢者となる2025年が目前にせまりつつ、社会保障政策上の課題とされている2040年問題（65歳以上の高齢者の人口がピークになることで起こりうる問題）への対応が急がれています。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことにより、経済や社会活動は大きな影響を受け、生活困窮者が増加し、さらに、孤独・孤立化していくなど従来の福祉制度では十分に対応することができない課題も顕在化しています。

こうした中、新型コロナウイルスの影響を受けた世帯への生活福祉資金特例貸付については、本年1月から償還が始まりました。借受人の中には、コロナ禍以前から生活が苦しい状況であったり、複合的な課題を抱えていたりするケースも少なくありません。そのため、本会においては、生活困窮者自立支援事業と連携して支援していきます。

社会構造の変化により、地域福祉においては様々な課題が見受けられます。本会は、人々が様々な生活課題を抱えながらも、住み慣れた地域で住民が相互に支え合い、一人ひとりが生きがいを持ち、安心・安全に暮らしていけるような地域をともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりの推進を目指していきます。

また、社会福祉法人連絡会においては、施設種別に関わらずネットワークを構築し、さらなる地域福祉の向上を目指すとともに、災害に対しても速やかに対応できる地域づくりに努めます。

今年度は、本会が法人化50周年を迎える節目の年でもあります。策定後3年目となる「第3次地域福祉活動計画」を着実に実施しながら、地域住民の皆様をはじめ、行政や各種関係機関・団体の皆様との連携・協働をさらに強化し、地域福祉の推進に努めていきます。

II 重点目標

- 1 第3次地域福祉活動計画の着実な実施
- 2 公的制度外福祉サービスの実施及び研究開発
- 3 生活困窮者支援の強化
- 4 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進
- 5 福祉施設の効率的運営と経営体制の強化
- 6 社協職員の意識改革と資質の向上

III 実施事業

1 法人運営の基盤整備

- ①法人運営の基盤整備及び経営体制の強化
 - ・理事会・評議員会の開催
 - ・適正な労務管理及び会計処理
 - ・各種法令に基づく諸規程の整備及び改正
 - ・職員の適正配置及び将来計画の検討
 - ・自主財源の確保
- ②会員制度の推進及び新規会員の発掘
 - ・会員制度についての周知と一般会員の増強
 - ・新規特別会員の発掘
- ③社協活動の情報発信
 - ・ホームページによる情報の発信
 - ・広報誌（社協だより）の発行
 - ・職員ワーキンググループによる広報誌の充実
- ④役員・職員の資質向上と事業への参加
 - ・役職員研修の開催
 - ・新任職員研修会の開催
 - ・関係機関が実施する研修会への積極的参加
 - ・福祉資格取得促進への助成
 - ・職場会議における情報の共有
 - ・各種事業への参加・協力
- ⑤各種関係機関・団体との連携強化
 - ・民生委員児童委員協議会への運営協力及び連携・助成
 - ・富岡市共同募金委員会の運営協力
 - ・富岡市遺族会の運営協力
 - ・福祉事業への協力依頼
 - ・県社協及び近隣市町村社協との連携強化

- ・社会福祉法人連携に係る社会福祉法人連絡会の運営

2 地域福祉事業の推進

①身近なところで支援が受けられる事業の展開

- ・心配ごと相談所の開設
- ・婚活支援事業の実施
- ・日常生活自立支援事業
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・富岡市高齢者等安心ネットワーク連絡協議会の運営
- ・車椅子の短期貸出
- ・福祉車両の貸出
- ・手押し車（シルバーカー）購入補助事業
- ・高齢者、障害者、母子・父子世帯、交通遺児等に対する歳末見舞
- ・配食サービス推進事業
- ・災害見舞金事業
- ・安心カードの更新
- ・緊急食料等提供事業
- ・生活困窮者自立支援事業の強化
- ・生活困窮世帯の子どもに対する無料学習塾の開催
- ・コロナ禍により発生した新たな福祉課題への取り組み

②全ての市民が積極的に参加できる福祉事業の展開

- ・サツマイモ収穫祭
- ・わくわくフェスティバル
- ・赤い羽根募金及び歳末たすけあい募金
- ・善意銀行の運営強化
- ・地域支援事業（生活支援体制整備事業）の受託
- ・地域における支え合い活動の推進【新規】
- ・生活支援ボランティア養成講座の開催
- ・学習支援ボランティア養成講座の開催
- ・支部社会福祉協議会との連携【新規】

③ボランティア活動及び福祉教育の推進

- ・ボランティア保険の加入促進
- ・ボランティア情報の発信
- ・中学生ボランティア体験学習
- ・ボランティア連絡協議会の組織強化及び助成
- ・災害ボランティアセンター設置訓練の開催
- ・収集ボランティア事業
- ・傾聴ボランティア派遣事業

- ・外国コイン紙幣募金事業
- ・福祉機器の貸出（車椅子・アイマスク・点字器・高齢者疑似体験器具）
- ・福祉教育講座の活動強化
- ・福祉教育プログラムの作成・配布

3 在宅サービス事業の推進

①訪問介護・居宅介護支援事業の安定経営及びサービスの向上

- ・利用者本位に基づくケアマネジメント業務の充実
- ・在宅介護の推進
- ・個別ニーズに合わせた訪問介護サービスの充実
- ・要介護認定調査の受託
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の積極的展開

②事業所体制の整備

- ・24時間支援体制の充実
- ・緊急時連絡体制の強化
- ・事業継続計画策定への準備

③職員の資質向上

- ・関係機関が実施する研修会への積極的参加
- ・職場内における情報の積極的共有
- ・職場内研修会の開催

4 福祉施設事業の推進

①地域活動支援センターつくし学園の安定経営及びサービスの向上

- ・利用者が生きがいを実感できる施設の運営
- ・作業活動の安定的確保及び工賃収入増加への取り組み
- ・園外研修及びレクリエーション活動の充実
- ・研修等への積極的参加による職員の資質向上
- ・利用者確保に向けたPR活動の積極的取り組み
- ・知的障害者福祉月間（9月）の啓発活動の推進
- ・障害者支援ボランティアの受け入れ

②救護施設妙義白雲寮の安定経営

- ・生きがいのある生活づくりと安全の確保
- ・施設の社会化と地域交流の推進
- ・研修等への積極的参加による職員の資質向上
- ・土砂災害や防犯を含めた防災対策の強化
- ・入所者の増員
- ・ホームページ開設による施設の情報発信